

テクスパン工法

取扱地域

北海道 東北 関東 中部 北陸
近畿 中国 四国 九州 沖縄

※取扱地域が記載されていない地域については、担当営業所(P572)にお問い合わせください。



下水
水道

擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路
関連

河川・
海洋・
環境

貯留・
防災
システム

通信
関連

建築・
宅造

特殊
工法・
新材

参考
資料

▶ 特長

- 1 3ヒンジ構造で、最大でも40cmの部材厚で設計可能です。
- 2 1日10m程度のアーチ部材架設が可能のため、工期短縮することができます。
- 3 使用部材は厳しい品質管理のもとに製作されているので、安心して使用できます。
- 4 アーチ部材の架設終了後すぐに、テクスパン内空側の供用が可能で、交通遮断を最小限度に抑えることができます。
- 5 同一作業の繰り返しのため、架設は簡単です。

▶ 施工手順



1 基礎工事

現場打ちで施工し、特に基礎のキーウェイは注意して打設を行います。



2 アーチ部材の組立

仮置した部材を反転させ、左右交互に組み立て、架設します。



3 坑口部の連結工

地震の影響を考慮して坑口付近のアーチ部材をPC鋼棒で連結します。



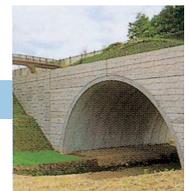
4 防水工事

目地部に防水シートをはり、水の浸入を防ぎます。



5 盛土工事 坑口工事

盛土材料の1層の仕上り厚さは最大250mmとし、盛土施工中はアーチ両側の盛土高低差が500mmを超えないようにします。



6 完成

設計条件

活荷重	T-25
土の単位体積重量	19kN/ m ³
水平土圧係数	0.50
最大内空幅	20m 程度
土かぶり	1.0m ~ 20m 程度
最大縦断勾配	6% 程度

2 分割

